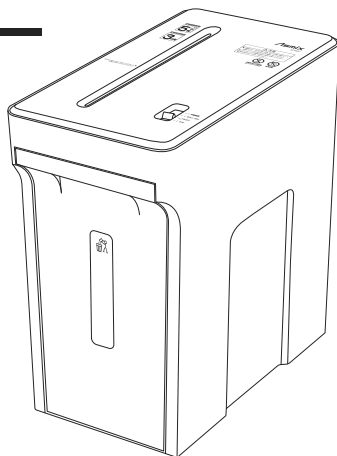
Asmix

CROSSCUT SHREDDER

クロスカットシュレッダー

品番 **SC3007**

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用の前に、「安全上のご注意」（1、2ページ）を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる場所に
必ず保存してください。

ご注意

●この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

●お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

仕様			
定格細断枚数	A4コピー用紙（68g/㎡）5枚（50/60Hz）	操作機能	電源スイッチ（オートスタート&ストップ機構つき） 自動停止安全スイッチ 逆転スイッチ・手動細断スイッチ
細断寸法	4.0×42mm クロスカット		
ダストボックス容量	約7.7ℓ（A4コピー用紙約70枚） ※5枚ずつ細断時	給紙口幅	224mm
		コードの長さ	約1.2m
細断速度	約3.2m/分 （A4コピー用紙1枚時・50Hz）	使用電源	AC100V（50/60Hz）
	約3.1m/分 （A4コピー用紙1枚時・60Hz）	消費電力	86W（50/60Hz）
		外形寸法	W179×D324×H332mm （組合せ時、突起部含まず）
定格使用時間	3分間	質量	約4.3kg（組合せ時）
制御機能	温度ブレーカー	付属品	取扱説明書・保証書

※細断枚数の「定格」は環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

	この記号は、してはいけないこと「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

子供使用禁止

子供の手の届く所で使用しない
けがをする恐れがあります。

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
※修理は販売店へご相談ください。

手を入れるな

給紙口や排出口に指を入れない
けがをする恐れがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。

衣類巻込み注意

給紙口にネクタイ、ネックレス、衣類などを近づけない
引き込まれて、けがをする恐れがあります。

禁止

電源コードが破損した時は、ご自身で修理せずにカスタマーサービスセンターにご相談ください。
ショート・感電・火災の原因になります。

髪の毛巻込み注意

給紙口に髪の毛を近づけない
引き込まれて、けがをする恐れがあります。

プラグを抜く

お手入れの時は、必ずプラグを抜く
感電の原因になります。

可燃スプレー厳禁

エアーダスターで細断屑の除去を絶対にしない
可燃性の高圧ガスに引火し爆発します。

水ぬれ禁止

水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

100V以外禁止

交流100V以外の電圧で使用しない
感電・火災の原因になります。

⚠ 注意

禁止

電源コードを熱器具に近づけない
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

紙詰まりの状態で、電源スイッチを「電源入/細断」、「逆転」・「手動細断」にしたまま放置しない
火災の原因になります。

ぬれ手禁止

プラグをぬれた手で抜き差ししない
感電の原因になります。

細断屑を捨てる時、お手入れの時、使用後には必ず電源スイッチを「電源切」にし、プラグをコンセントから抜く
けがをする恐れがあります。

プラグは根元まで確実に差し込む
感電・火災の原因になります。

ダストボックスを出し入れする時は、指をはさまないように注意する
けがをする恐れがあります。

移動させる時は、プラグを抜く
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

細断中はダストボックスを出し入れしない
けがをする恐れがあります。

プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜く
電源コードが傷つき、ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

湿気や水気のある所で使用しない
ショート・感電の原因になります。

禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。

禁止

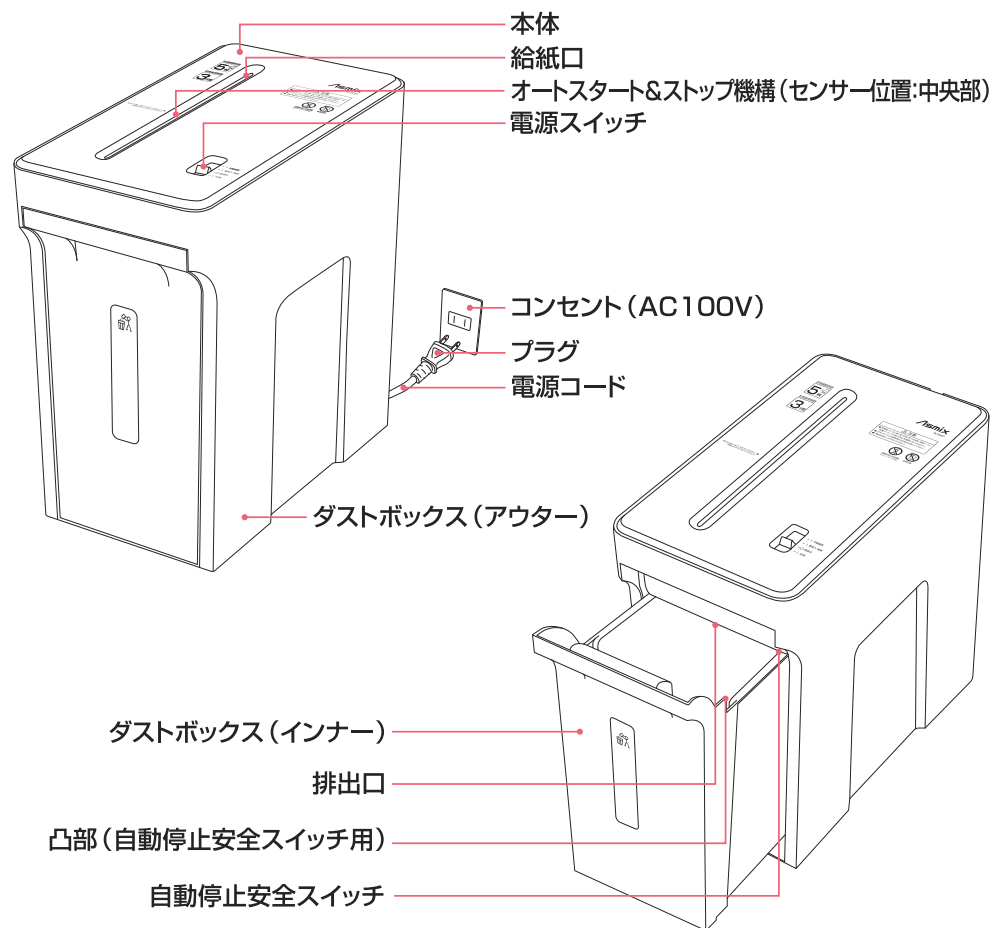
不安定な場所に置かない
けがをする恐れがあります。

プラグを抜く

長時間使用しない時は、プラグを抜く
事故や感電・火災の原因になります。

禁止

シンナーやベンジンで拭いたり、殺虫剤をかけない
ひびわれによるけが、ショート・感電・火災の原因になります。

各部の名称

設置上のお願い

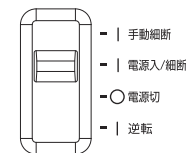
●電源スイッチが必ず「電源切」になっていることを確認してください。
●直射日光は避けてください。
変形・故障の原因になります。

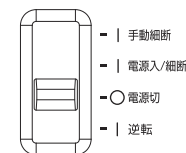
まず、使ってみましょう。 詳しい説明は参照ページをご覧ください。

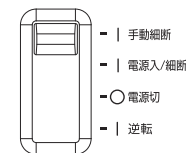
1. ダストボックスを本体にしっかり入れる。……… P.3 各部の名称
2. プラグをコンセントに差し込む。
3. 電源スイッチを「電源入/細断」にする。……… P.4 スイッチの使い方 P.5 細断の仕方
4. 細断する用紙を給紙口に入れる。…… P.5 細断の仕方 P.8 故障の原因となるため絶対にお守りください。
5. 細断が終わったら電源スイッチを「電源切」にする。…… P.4 スイッチの使い方 P.5 細断の仕方

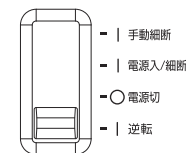
スイッチの使い方

電源入/細断

プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「電源入/細断」にして給紙口に用紙を入れると自動的に細断を開始し、細断が済むと自動的に停止します。
※通常のご使用時はこの状態で細断してください。
※ご使用後は必ず電源スイッチを「電源切」にしてください。

電　源　切

しばらく使用しない時は電源スイッチを「電源切」にし、プラグをコンセントから抜いてください。
細断屑を捨てる時や本体の移動はこの状態で行ってください。

手 動 細 断

電源スイッチを「手動細断」にすると、強制的に刃が正回転します。

逆　転

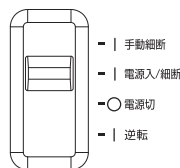
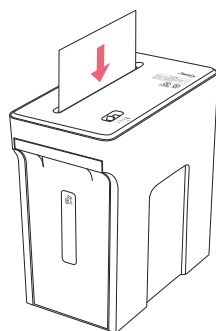
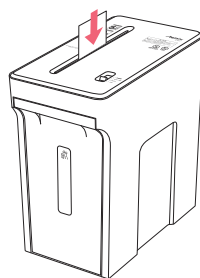
電源スイッチを「逆転」にすると、強制的に刃が逆回転します。
細断を途中で中止したり、詰まった用紙が取り出せない時に使用します。

安全装置

安全装置	こんな時	解除方法
温度ブレーカー	定格使用時間3分間以上使用した場合、モーターの温度が上昇し、自動的に作動が停止します。	電源スイッチを「電源切」にしてモーターの温度が下がるまで30分間休ませてから再開してください。
自動停止安全スイッチ	細断屑を捨てる時など本体とダストボックスが離れると、電源が自動的に切れます。	電源スイッチを「電源切」にしてダストボックスを本体の中にしっかりと入れてください。

細断の仕方

1 プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「電源入/細断」にします。

2 細断したい用紙を給紙口に入れると、オートスタート機構が作動し自動的に細断を開始し、細断が済むと自動的に停止し

3 細断が終わったら電源スイッチを「電源切」にします。

まっすぐ入れる!

小さい用紙は、オートスタート機構が作動する中央に入れてください。

注＞給紙口の幅より大きい用紙は、折って入れてください。

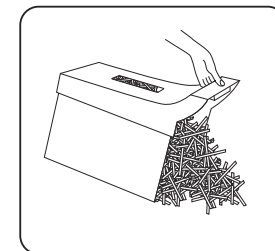
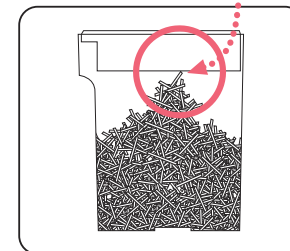
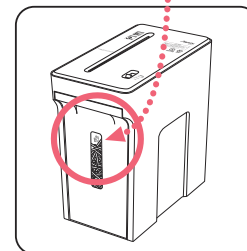
お願い

●定格細断枚数は、A4コピー用紙5枚です。
故障の原因になりますので、定格細断枚数以上のものを細断しないでください。
●ダンボールや厚い用紙、和紙など柔らかい用紙は細断できません。
●定格使用時間は3分間です。続けて細断する時は、電源スイッチを「電源切」にして30分間休ませてから再開してください。
●コンピューター用紙などの連続用紙は定格サイズ内に切りはなして細断してください。

細断屑をこまめに捨ててください。

1.ダストボックスの窓から細断屑が見え始めます。

2.そのまま細断を続けると排出口に細断屑が詰まり故障の原因になります。

3.ダストボックスの細断屑をこまめに捨ててください。

お願い

ダストボックスの容量は、A4コピー用紙を5枚ずつ細断した場合で、約70枚です。細断屑がダストボックスに満杯になると、紙詰まりの原因になりますので、細断屑はこまめに捨ててください。

メンテナンス方法について

細断騒音が大きくなったり、紙詰まりが起こりやすくなる前にAsmixシュレッダー専用潤滑油シート《メンテナンスシート》(別売)でメンテナンスをしてください。

●どのくらいでシュレッダーメンテナンスするの?
月に2回位、または約30分間の細断ごとに一度行ってください。

使うたびにラベンダーの香りでリラックス

シュレッダーの性能を最大限に上げる!
入れるだけで簡単にメンテナンス!
●刃の切れ味を保ちます
●シュレッダーの寿命を保ちます
●オイルが手につかない紙パック

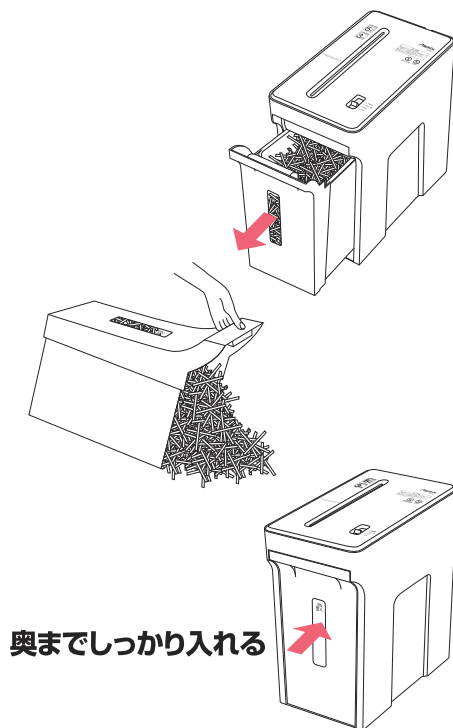
151×218mm
品番:SMSA5

細断屑の捨て方

1 電源スイッチを「電源切」にし必ずプラグをコンセントから抜いてください。

2 ダストボックスを本体から引き出します。

3 ダストボックス内の細断屑を捨ててください。

4 ダストボックスを本体に戻してください。

お手入れの仕方

本体のそうじ

●乾いた柔らかい布で、カラ拭きしてください。
●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布に少しつけて拭き、その後乾いた布で拭きとってください。（シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やクレンザーなどの研磨剤は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。）

お願い

けがをする恐れがありますので、お手入れの際は必ずプラグをコンセントから抜いてください。

故障の原因となるため、絶対にお守りください。

細断する時

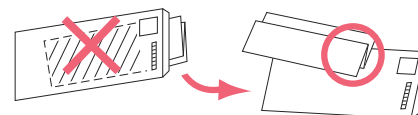
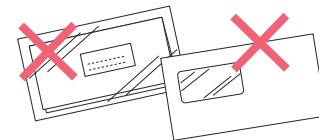
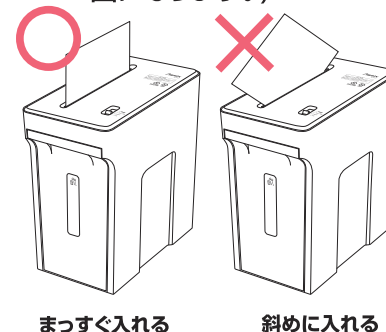
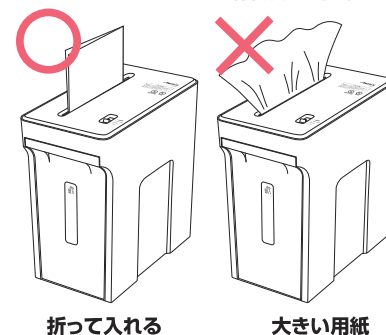
注1〉 ゼムクリップ・ステープラーの針は取ってください。

注2〉 一度に細断できる枚数は

定格細断枚数

定格使用時間（3分間）で
一度に連続して細断できる枚数です。
A4コピー用紙 5 枚

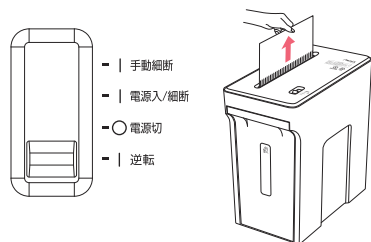
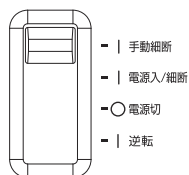
注3〉 定格使用時間は3分間です。
（定格細断枚数を細断した時）
・定格使用時間とは、上記の定格細断枚数を連続して細断可能な時間のことを表しています。
・3分間以上細断する時は、一度電源スイッチを「電源切」にして、30分間休ませてください。

注4〉 DMやカタログの入ったままの厚い封筒を細断しないでください。（細断枚数過剰および細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に細断してください。）

注5〉 透明封筒や窓付封筒（フィルム）、宛名ラベル（粘着剤つき）の貼ってある封筒を細断しないでください。

注6〉 用紙は給紙口の中央にまっすぐ入れてください。（斜めに入れると紙詰まりの原因になります。）

注7〉 給紙口より大きい用紙は、折って入れてください。（折った時に定格細断枚数以

用紙が詰まって取り出せない時

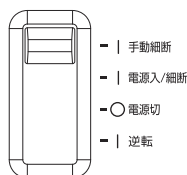
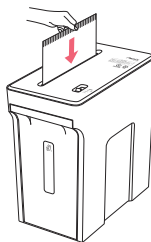
用紙を斜めに入れたり、定格細断枚数以上の用紙を細断した場合、刃に用紙が噛み込んで取り出せない場合があります。

1 電源スイッチを**「電源切」**にし必ずプラグをコンセントから抜き、ダストボックスの細断屑を捨ててください。
（P.7「細断屑の捨て方」を参照）

2 ダストボックスを本体に入れ、プラグをコンセントに差し込みます。

3 電源スイッチを**「逆転」**にして噛み込んでいる用紙を刃から取り出してください。

4 電源スイッチを数秒間**「手動細断」**にします。

5 一度で取り除けない場合は③と④の手順を繰り返してください。

注〉電源スイッチを「逆転」・「手動細断」へ交互に動かす時は必ず1秒以上間隔をあけてください。間隔をあけないとモーターやギアが破損することがあります。

6 用紙を取り出したら、電源スイッチを数秒間**「手動細断」**にして刃についている細断屑を取り除いてください。

7 電源スイッチを**「電源入/細断」**にして細断枚数を減らし、細断していない方向から、再度細断してください。

注〉湿度が高く用紙が水分を多く含んでいる時や、紙質によっては、定格細断枚数であっても細断できない場合があります。その時は、細断枚数を減らしてください。

お願い

● 細断禁止物や定格枚数以上のコピー用紙を細断すると詰まりの原因になります。投入する細断物には十分ご注意願います。

● 「用紙が詰まって取り出せない時」を数回行っても用紙が取り出せない場合は、オートスタート&ストップ機構を破損する恐れもありますので、無理に取り出さずに裏表紙「保証とアフターサービス」をお読みいただき、修理をご依頼ください。

故障かな?と思われた時

修理を依頼される前に本取扱説明書をよくお読みいただき、使用方法に間違いがないかご確認ください。

こんな時は	チェック	処置
刃が回転しない	・プラグがコンセントからはずれていませんか? ・電源スイッチが「電源入/細断」になっていますか? ・用紙が刃に詰まっていませんか? ・細断屑が満杯になっていませんか? ・3分間以上、連続して細断していませんか? ・ダストボックスが本体の中にしっかり入っていますか? ・用紙が給紙口の中央に入っていますか?	・プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ・電源スイッチを「電源入/細断」にしてください。 ・本取扱説明書のP.9「用紙が詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙を取り除いてください。 ・本取扱説明書のP.7「細断屑の捨て方」をお読みいただき、細断屑を捨ててください。 ・電源スイッチを「電源切」にして30分間休ませてから再開してください。 ・ダストボックスを本体の中にしっかり入れてください。 ・用紙を給紙口の中央に入れてください。
刃が回転しても細断しない	・厚い用紙や定格細断枚数以上の用紙を細断していませんか? ・ゼムクリップやステープラーの針を細断していませんか? ・細断屑が満杯になっていませんか?	・定格細断枚数をお守りください。 ・用紙以外のものは細断しないでください。本取扱説明書のP.9「用紙が詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙以外のものを取り除いてください。 ・本取扱説明書のP.7「細断屑の捨て方」をお読みいただき、細断屑を捨ててください。
細断が途中で止まる	・用紙が給紙口または、排出口に詰まっていませんか? ・用紙が斜めに入っていませんか? ・給紙口の幅より大きな用紙を入れていませんか? ・湿った用紙を入れていませんか? ・定格細断枚数以上の用紙を細断していませんか? ・用紙にシールやのり、フィルム等がついていませんか? ・細断屑が満杯になっていませんか?	・本取扱説明書のP.9「用紙が詰まって取り出せない時」をお読みいただき、用紙を取り除いてください。 ・用紙をまっすぐ入れてください。 ・給紙口の幅より小さく折って入れてください。(折った時に定格細断枚数以上にならないようにします。) ・湿った用紙は入れないでください。 ・定格細断枚数をお守りください。 ・用紙以外のものは細断しないでください。 ・本取扱説明書のP.7「細断屑の捨て方」をお読みいただき、細断屑を捨ててください。
本体が熱い	・3分間以上、連続して細断していませんか? ・用紙が刃に詰まった状態で電源スイッチが「電源入/細断」または、「逆転」・「手動細断」になっていませんか?	・電源スイッチを「電源切」にして30分間休ませてから再開してください。 ・電源スイッチを「電源切」にして30分間休ませてから再開してください。
刃の回転が止まらない	・給紙口に細断屑が詰まっていませんか?	・電源スイッチを「電源切」にして必ずプラグをコンセントから抜いて、ピンセットなどで、詰まった細断屑を取り除いてください。細断屑を取り除く時は、オートスタート&ストップ機構を破損しないように注意してください。

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店へ下記の事項をできるだけ詳しくご連絡ください。
① 故障状況　② 品番「SC3007」　③ ご購入年月日（保証書に記入されています。）

保証とアフターサービス よくお読みください

修理やご不明な点などのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
※本機を分解されますと、保証が無効になります。

■ 修理を依頼される時は

P.10「故障かな?と思われた時」をご確認ください。それでも異常がある時は、使用をやめて
お買い上げの販売店に保証書を添えてこの製品をお持込のうえ、修理をお申し付けください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきます。

●保証期間を過ぎている時は

修理によりご使用できる場合には、ご要望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、基本料・技術料・部品代等で構成されています。
基本料:診断・点検等の費用です。
技術料:故障した製品を正常にするための修理・調整等の作業にかかる費用です。
部品代:修理に使用した部品代金です。

■ 出張修理は行っておりません。

点検や修理の発送のために外箱・緩衝材(発泡スチロール・段ボール等)を保管しておいてください。

■ お問い合わせは

この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターへお申し付けください。

お願い 修理を依頼される時は、付属品も一緒にお持込ください。

■ 便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　ー

愛情点検 **長年ご使用のシュレッダーの点検を！** [ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。]

このような症状はありませんか	●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。 ●電源コードに傷があったり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常な発熱、異音、異臭がする。	▶	故障や事故防止のために、電源スイッチを「電源切」にし、コンセントからプラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター
TEL03-5690-9412
受付時間:AM10:00～12:00
PM　1:00～　5:00
月曜日～金曜日
(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

2010年4月 第1版